i-Tube

iPod/iPod mini/iPod nano専用
マルチメディアスピーカー&ワイヤレスリモコン
PSP-MSSIT

ユーザーズガイド

お買い上げありがとうございます。
ご使用の際には、必ず以下の記載事項をお守りください。
・ご使用の前に、必ず本書の「安全上のご注意」「製品保証規定」をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上でご使用ください。
・別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。
・本書は保証書と一緒に、大切に保管してください。
・iPod/iPod mini/iPod nano は、Apple 社の登録商標です。

⚠注意
車の運転中などに、本製品を操作することは絶対にしないでください。
本製品を小さいお子様の手の届く場所に放置しないでください。誤って飲み込むなど大変危険です。
本製品を、本書に記載されている以外の用途に使用しないでください。

本書について
本文中で、特に明記しない場合を除き**「iPod」**は、「iPod」「iPod mini」「iPod nano」「iPod 5G」を意味します。

同梱品

本製品のパッケージの内容は、次のとおりです。
お買い上げのパッケージに次のものが同梱されていない場合は、販売店までご連絡ください。

品名	数量
スピーカー	1
サブウーファ	1
Dock	1
Dock アダプタ(Universal 対応ー本体取り付け済みー)※	1
ACアダプタ	1
リモートコントローラ	1
リモートコントローラ用ボタン型アルカリ電池(リモートコントローラに装着済)	1
サブウーファ接続用ケーブル	1
スピーカー接続用ケーブル	2
3.5mmステレオミニプラグケーブル	1
ビデオケーブル(RCAプラグ)	1
サブウーファ用ゴム足	4
サブウーファ用スパイクフット	4
ユーザーズガイド(本書)	1
保証書	1

※Dockコネクタを持たないiPodやMP3プレーヤーなどを3.5mmステレオミニプラグケーブルで接続するとき、または長期間使用しないときなどに、Dockのコネクタ部分を埃などから保護する際に使用します。

仕様

ツィーター

項目	仕様
スピーカーユニット	直径 25mm、防磁型
再生周波数帯域	3,000Hz～20,000Hz
インピーダンス	8Ω

パワーアンプ

項目	仕様
最大出力	32W
サテライト/サブウーファ	8W×2/16W
歪み率	0.5%以下
S/N比	75db

サブウーファ

項目	仕様
スピーカーユニット	直径165mm、防磁型
再生周波数帯域	55Hz～3000Hz
インピーダンス	4Ω

ミッドレンジ

項目	仕様
スピーカーユニット	直径 50mm、防磁型
再生周波数帯域	180Hz～20,000Hz
インピーダンス	8Ω

項目	仕様
入力端子	3.5mmステレオミニジャック×1
出力端子	サテライト出力(3.5mmモノラルミニジャック)×2
	サブウーファ出力(RCA)×1
	ビデオ入力(RCA)×1
電源	DC 24V 1000mA
外形寸法/質量	サテライトスピーカー:φ70×W462mm/685g
	サブウーファ:W197×D197×H197mm/2,450g
	Dock(メインユニット):W114×D130×H25mm/190g(アダプタ込)
	スタンド(Dock固定用):57g
	スタンド(平置き用):53g
	スパイクフット:21g x 4

リモートコントローラ基本仕様

項目	仕様
送信方式	赤外線方式
使用範囲	8m以内 ※使用環境により異なります。

リモートコントローラ

項目	仕様
外形寸法	W40×D86×H6.26mm
質量	18g(電池込み)

ユーザー登録について

弊社ホームページ にて、ユーザー登録ができます。

弊社ホームページ 「ユーザー登録」
http://www.princeton.co.jp/support/registration/top.html

※ユーザー登録されたお客様には、弊社から新製品等の情報をお届けします。
※ユーザー登録後に、本製品を譲渡した場合には、ユーザー登録の変更はできませんので、ご了承ください。

最新情報の入手方法

プリンストンテクノロジーでは、インターネットのホームページにて最新情報や販売店を紹介しております。

URL http://www.princeton.co.jp/

製品保証に関して

・万一、製品のご購入から1年以内に製品が故障した場合は、弊社による故障判断完了後、無償にて修理/製品交換対応させていただきます。修理にて交換された本体および部品に関しての所有権は弊社に帰属するものと致します。
・保証の対象となる部分は製品のハードウェア部分のみで、添付品や消耗品は保証対象より除外とさせていただきます。
・本製品の故障また使用によって生じた損害は、直接的・間接的問わず、弊社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。
・当社は商品どうしの互換性問題やある特定用途での動作不良や欠陥などの不正確な問題に関する正確性や完全性については、黙示的にも明示的にもいかなる保証も行なっておりません。また販売した商品に関連して発生した下記のような障害および損失についても、当社は一切の責任を負わないものといたします。
・一度ご購入いただいた商品は、商品自体が不良ではない限り、返品または交換はできません。各機器には対応機種があり、ご購入時にご案内していますのでよくご確認下さい。対応機種間違いによる返品はできませんので予めご了承下さい。

This warranty is valid only in Japan

免責事項

■保証期間内であっても、次の場合は保証対象外となります。
・保証書のご提示がない場合、または記入漏れ、改ざん等が認められた場合。
・設備、環境の不備等、使用方法および、注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障・損傷。
・輸送・落下・衝撃など、お取り扱いが不適切なために生じた故障・損傷。
・お客様の責に帰すべき事由により生じた機能に影響のない外観上の損傷。
・火災、地震、水害、塩害、落雷、その他天地異変、異常電圧などにより生じた故障・損傷。
・接続しているほかの機器、その他外部要因に起因して生じた故障・損傷。
・お客様が独自にインストールされたソフトウェアに起因して生じた故障・損傷。
・お客様の故意または重過失により生じた故障・損傷。
・ユーザーズガイド記載の動作条件ならびに機器設置環境を満足していない場合。
・弊社もしくは弊社指定の保守会社以外で本製品の部品交換・修理・調整・改造を施した場合。
・譲渡などにより製品を入手した場合。
■お買い上げ製品の故障もしくは動作不具合により、その製品を使用したことにより生じた直接、間接の損害、HDD等記憶媒体のデータに関する損害、逸失利益、ダウンタイム(機能停止期間)、顧客からの信用、設備および財産への損害、交換、お客様および関係する第三者の製品を含むシステムのデータ、プログラム、またはそれらを修復する際に生じる費用(人件費、交通費、復旧費)等、一切の保証は致しかねます。 またそれらは限定保証の明記がされていない場合であっても(契約、不法行為等法理論の如何を問わず)責任を負いかねます。
■製品を運用した結果の他への影響につきましては一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい。
■購入された当社製品の故障、または当社が提供した保証サービスによりお客様が被った損害(経済的、時間的、業務的、精神的等)のうち、直接・間接的に発生する可能性のあるいかなる逸失利益、損害につきましては、当社に故意または重大なる過失がある場合を除き、弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。また、弊社が責任を負う場合でも、重大な人身損害の場合を除き、お客様が購入された弊社製品などの価格を超えて責任を負うものではありません。

製品修理に関して

・保証期間内の修理は、弊社テクニカルサポートまでご連絡いただいた後、故障品を弊社まで送付していただきます。故障品送付の際、弊社までの送料はお客様のご負担となりますことを予めご了承ください。修理完了品または代替品をご指定の場所にご送付させて頂きます。
・動作確認作業中及び修理中の代替品・商品貸し出し等はいかなる場合においても一切行っておりません。
・お客様に商品が到着した日から1週間以内に、お客様より当社に対して初期不良の申請があった場合で、なおかつ弊社側の認定がなされた場合にのみ初期不良品として、正常品もしくは新品との交換をさせていただきます。その際はご購入時の梱包、箱、保証書などの付属品等が全て揃っていることが条件となります。
・修理品に関しては「製品保証書」を必ず同梱し、下記「お問い合わせについて」に記入された住所までご送付ください。
・製造中止等の理由により交換商品が入手不可能な場合には同等品との交換となります。
・お客様の設定、接続等のミスであった場合、また製品の不良とは認められない場合は、技術料およびチェック料を頂く場合がございますので予めご了承下さい。
・お客様の御都合により、有料修理の撤回・キャンセルを行われた場合は技術作業料及び運送料を請求させて頂く場合がございますので予めご了承下さい。
・サポートスタッフの指示なく、お客様の判断により製品をご送付頂いた場合で、症状の再現性が見られない場合、及び製品仕様の範囲内と判断された場合、技術手数料を請求させて頂く場合がございますので予めご了承下さい。

修理/お問い合せについて

■テクニカルサポート・商品および保証に関するお問い合わせ先

テクニカルサポート
〒101-0032
東京都千代田区岩本町3-9-5 K.A.I.ビル 3F プリンストンテクノロジー株式会社 テクニカルサポート課

電話からのお問い合わせ 03-6670-6848
【受付】月曜日から金曜日(祝祭日および弊社指定休業日を除く)
9:00～12:00、13:00～17:00

Webからのお問い合わせ http://www.princeton.co.jp/contacts/top.html

安全上のご注意

本製品をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
本製品のご使用に際しては、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、必要なときすぐに参照できるように、本書を大切に保管しておいてください。
本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

表示	意味
⚠警告	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うなど人身事故の原因となることがあります。
⚠注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生することがあります。

図記号の意味
- ⚠ 注意を促す記号(△の中に警告内容が描かれています。)
- ⃠ 行為を禁止する記号(⃠の中や近くに禁止内容が描かれています。)
- ❗ 行為を指示する記号(●の中に指示内容が描かれています。)

⚠警告

小さいお子様の手の届くところに、本製品を放置しないでください。

- 発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。ただちに本体の電源スイッチを切り、AC アダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなってから販売店に修理を依頼してください。
- 内部に水などの液体が入った場合、異物が入った場合は、まず最初に本体の電源スイッチを切り、AC アダプタをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。
- 浴室等、湿気の多い場所では使用しないでください。火災、感電の原因になります。
- 本製品に水を入れたり、濡らしたりしないようにしてください。火災、感電の原因になります。海岸や水辺での使用、雨天、降雪中の使用には特にご注意ください。
- 雷鳴が聞こえたら、AC アダプタやアンテナ線には触れないでください。感電の原因になります。
- 本製品は、日本国内での使用を前提に設計、製造されています。付属の AC アダプタ(AC100V)以外での使用は避けてください。火災、感電の原因になります。
- 本製品を落とす、ものをぶつけるなどの衝撃が加わった場合やキャビネットを破損した場合は、本体の電源スイッチを切り、AC アダプタをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。
- 本製品の上に、花瓶、コップ、植木鉢、化粧品や薬品などの入った容器、アクセサリなどの小さな金属物等を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因になります。
- 本製品の裏ぶた、カバー、キャビネットは絶対にはずさないでください。内部には高電圧の箇所があり、感電の原因になります。
- 本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、破損の原因になります。
- スピーカー内部に金属片や異物などを落とさないでください。ショートや発熱を起こし、火災の原因になります。
- 熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。火災の原因になります。
- 本製品を設置する場合、壁から 10cm 以上離して設置してください。また、効率的に放熱するために、他の機器とは離して設置してください。ラックなどに設置する場合は、本製品の天面から 2cm 以上、背面から 5cm 以上の隙間をあけてください。内部に熱がこもり火災の原因になります。
- 電源ケーブルが損傷(芯線の露出、硬化してひび割れている、断線など)した場合は、直ちに使用を止めてください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。
- 電源ケーブルの上に重いものや本製品を載せる、電源ケーブルを傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張るなどはしないでください。コードが破損して火災、感電の原因になります。
- オーディオケーブルの上に重いものを載せたり、ケーブルを本製品の下敷きにしたりしないでください。また、壁や棚などの間に挟み込まないでください。
  オーディオケーブルが損傷し、火災の原因になります。
- オーディオケーブルを熱器具の近くや直射日光のあたるところに近づけないでください。コードの皮膜が溶けて、火災の原因になります。
- オーディオケーブルを人が通るところなどひっかかりやすいところに這わせないでください。躓いて転倒したり、スピーカーが落下し、怪我や事故の原因になります。

⚠注意

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気が当たる場所には置かないでください。火災、感電の原因になることがあります。
- 窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たるところなど異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災、感電の原因になることがあります。
- ぐらついた台の上や、傾いたところなど不安定な場所におかないでください。また、設置場所の強度は、重みに耐えられるものにしてください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。
- 高いところに設置する場合は、不意な衝撃があっても落下しないよう固定してください。固定しないまま使用しますと、落下し、怪我や事故の原因になります。また、高いところへの設置作業は、足元が不安定になりますので、十分注意してください。
- 電源を入れる前には、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になることがあります。
- 万が一の事故防止のため、この機器を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントから AC アダプタを抜けるようにしてください。
- 長期間本製品を使用しない場合は、安全のために必ずコンセントから AC アダプタを抜いてください。
- お手入れの際は、安全のため AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 濡れた手で AC アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。
- AC アダプタを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らず必ず AC アダプタをもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。
- 定格をこえる入力を入れた状態や、長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。
- お子様がむやみに手を触れないようご注意ください。怪我の原因になることがあります。

プリンストンテクノロジー株式会社

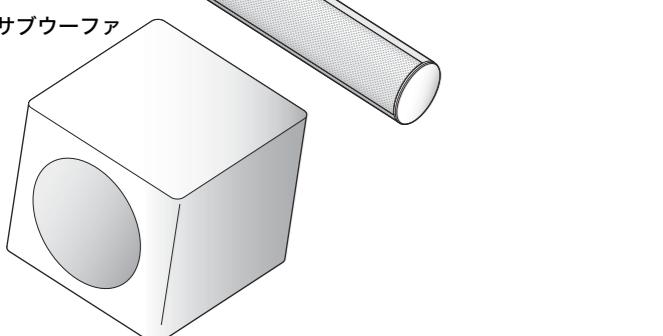
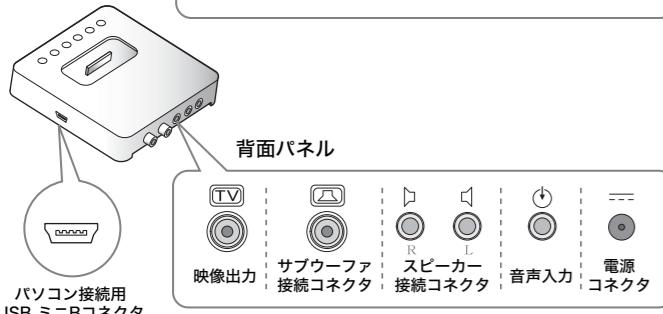
2006年10月 第1版

はじめにお読みください

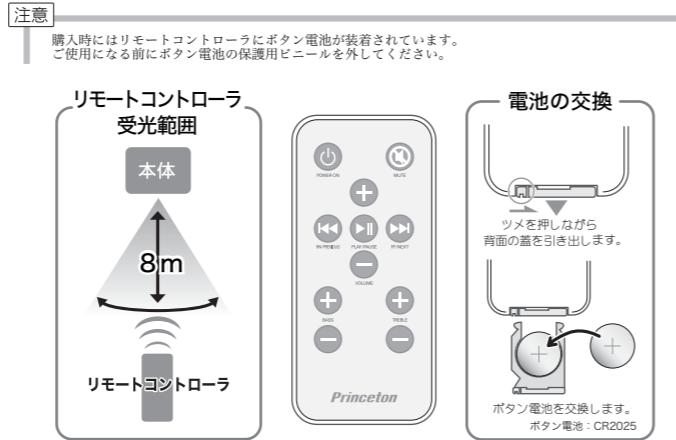
スピーカーを使用する際のご注意

スピーカーについて
スピーカー部分の丸い開口部にはドライバユニットといわれる精密機器が実装されています。この部分は大変デリケートな部品で構成されておりますので、絶対に直接手を触れないようにしてください。

防磁について
本製品は防磁対応製品ですが、ディスプレイの近くで長時間使用した場合、帯磁によって画面に異常が発生することがあります。自動消磁機能付きのディスプレイもありますが、そうでないものは手動で消磁する必要があります。消磁の方法につきましてはディスプレイの取扱説明書をご確認ください。

特　　長

■スピーカー
- iPodを直接接続※1。USBケーブル※2でPCを接続すれば、iPodとのデータリンクが可能
- USBケーブル※2、あるいは付属のACアダプタを接続すれば、iPodの充電が可能
- Universal Dock対応
  （iPodに付属または市販しているアダプタを使用してください）
- Appleのシネマディスプレイに最適なデザイン
- トータル出力32Wのパワーアンプ内蔵3ウェイスピーカー
- 豊かな低音を再生するサブウーファ標準装備
- ステレオミニ端子でMP3プレーヤーやCDプレーヤーと接続
- 映像出力端子搭載でiPod 5Gの映像もテレビ等に出力可能

■リモートコントローラ
- コンパクトで軽量
- リモコンからトーン調整が可能
- 最大８m※3離れた場所から操作可能

※1：iPod nano、iPod 5Gを使用する場合、各iPod付属（専用）の「Universal Dockアダプタ 」が必要です。
　　それ以外のiPodでは、市販の「Universal Dockアダプタ 」をご用意ください。
※2：別途USBケーブル（ミニBオス⇔USB Aオス）をご用意ください。
※3：使用環境により使用できない場合があります。

対応iPod機種

音楽再生可能	iPod 5G/iPod nano/カラーディスプレイ付きiPod iPod photo/iPod mini/iPod 4G
スライドショー可能	iPod 5G/カラーディスプレイ付きiPod/iPod photo
動画再生可能	iPod 5G

各部の名称と主な機能

パソコン接続用 USB ミニBコネクタ
パソコンと接続する際に使用します。
市販のUSBケーブルでパソコンと接続してください。

リモートコントローラ各部の名称と主な機能

注意
購入時にはリモートコントローラにボタン電池が装着されています。
ご使用になる前にボタン電池の保護用ビニールを外してください。

リモートコントローラ受光範囲

電池の交換

基本機能

再生／一時停止（PLAY/PAUSE）
押すごとに、曲の再生／一時停止を切替えます。
長押しすることでiPodの電源をOFFにすることも可能です。

巻き戻し（RW/PREVIOUS）
1回押す
曲の先頭／前の曲に戻ります。
押し続ける
押している間、曲を逆再生します。

早送り（FF/NEXT）
1回押す
次の曲を再生します。
押し続ける
押している間、曲を早送りします。

ボリューム（VOLUME）
＋：音量を大きくします。
－：音量を小さくします。

本体操作

電源ボタン（POWER ON）
電源のオン／オフに使用します。

ミュート（MUTE）
押すごとに、音声の消音／再生を切替えます。

トーンコントロール

BASS調整
＋：低音を強くします。
－：低音を弱くします。

TREBLE調整
＋：高音を強くします。
－：高音を弱くします。

スピーカーとスタンドの取り付け

注意
スピーカーを使用する際は、必ず付属のスタンドを取り付けてください。

■Dock固定用のスタンドの場合

1 スタンドをDock底面の溝に合わせて図の様に固定します。

2 スピーカー固定用のビスで、図の様にスピーカーを固定します。

■平置き用のスタンドの場合

スピーカー固定用のビスで、図の様にスピーカーを固定します。

スピーカーの接続

サブウーファの接続

注意
ケーブルの接続が不十分な場合、雑音が入ったり音が不安定になります。
ケーブルを接続する際は、銅線部分を奥までしっかりと挿入して接続してください。

サブウーファ用ゴム足／スパイクフット

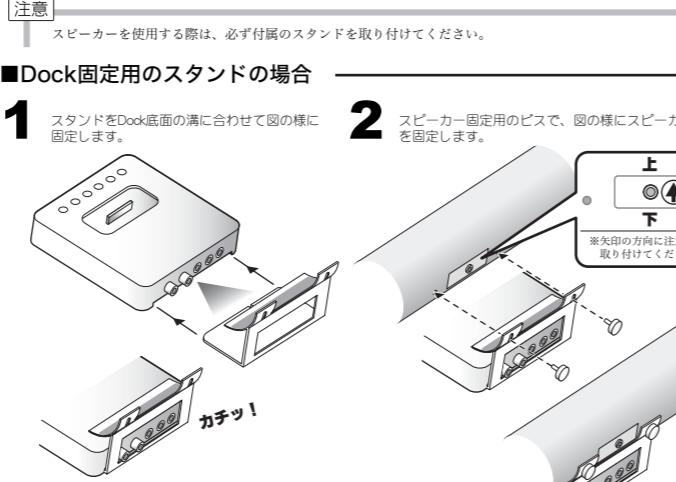
ご利用する環境に合わせて付属のゴム足またはスパイクフットを、サブウーファ底面に貼り付けてください。

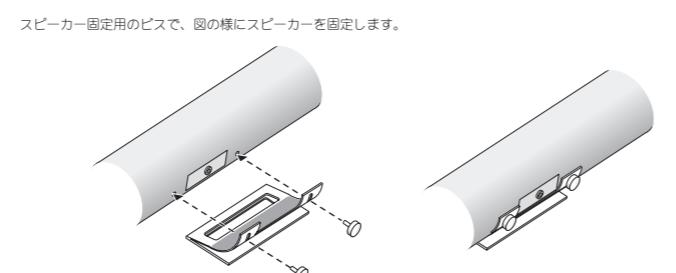
ゴム足
ご利用する環境が滑りやすい場合や、振動を避けたい場合にご利用ください。

スパイクフット
ご利用する環境が硬い床などの場合にご利用ください。

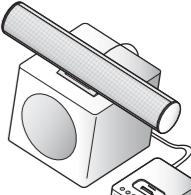
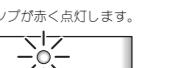
注意
傷がつきやすい場所への設置は、設置前にご確認の上、十分注意して設置してください。
本製品を設置および使用中に発生した設置場所への損傷につきましては、弊社は一切の責任を負いません。
あらかじめご了承ください。

Dock（メインユニット）にiPodを接続する

「Universal Dockアダプタ 」をご用意ください

iPod nano、iPod 5Gを使用する場合、各iPod付属（専用）の「Universal Dockアダプタ 」が必要です。
それ以外のiPodでは、市販の「Universal Dockアダプタ 」をご用意ください。

接続するiPodに対応したDockアダプタを取り付けます。
取り付けの際は、Dockアダプタのツメの向きに注意しながら取り付けます。

Point
iPodを接続すると、自動的にiPodの電源がONになります。

■アダプタの交換方法
Dockアダプタのスロットを指の爪などで引っ掛けて取り外します。

注意
スピーカーにiPodを接続したまま、持ち運んだりむやみに動かさないでください。iPodの欠落や本体コネクタ部分が故障する場合がございます。

使い方

1 スピーカーとサブウーファをDockに接続します。

2 ACアダプタを接続します。

注意
付属のACアダプタ以外は使用しないでください。故障の原因になります。

電源ランプが赤く点灯します。

3 iPodを接続します。

iPodまたはその他の再生機器を接続します。
iPodを使用する場合は対応したDockアダプタを装着してください。
iPod以外の再生機器を接続する場合は、オーディオケーブルで本体と接続してください。

Dock コネクタを使用して iPod を接続すると、自動的に iPod の電源が ON になり iPod の充電を開始します。

注意
スピーカーにiPodを接続したまま、持ち運んだりむやみに動かさないでください。iPodの欠落や本体コネクタ部分が故障する場合がございます。
iPodを操作する場合は、必ずiPodの上部を手で押さえた状態で操作してください。上部を押さえずに操作すると、iPodの欠落や本体コネクタ部分が故障する場合がございます。

4 電源をONにします。

本体の電源をONにして、準備完了です。
iPodを再生すると、スピーカーとして使用いただけます。

Point
iPodを使用する場合、iPodの音量設定は無効になり、本体の音量調整により再生されます。
コンセントから電源アダプタを抜いたり電池を取り外すと、音量設定がリセットされて次回使用するときには、出荷時の音量で再生されます。

iPod（5G）の写真やビデオをテレビで見る場合

iPod　5Gの写真やビデオをテレビで見る場合に使用します。付属のビデオケーブルでテレビと接続してください。

注意
iPodのビデオ出力方法は、iPodの取扱説明書を参照してください。

Dockコネクタの無いiPodや他の再生機器を接続する場合

付属の3.5mmステレオケーブルを使用して、旧iPod（Dockコネクタを持たない）や他のオーディオ機器（MP3・MD・CDプレーヤー）、ノートブックパソコン、デスクトップパソコン等と接続し、外部スピーカーとしても使用可能です。

注意
ステレオケーブルで接続した場合、充電やデータ転送機能は使用できません。

iPodの充電

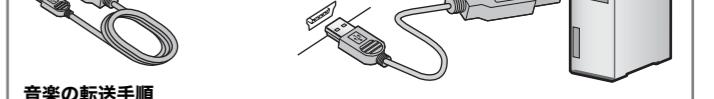
Dockコネクタの無いiPodは充電できません。

本製品のDockコネクタを使用して、iPodを充電することができます。
本体の電源がOFFでも、本体のDockコネクタにiPodを接続すると充電を開始します。

充電を行う場合は、必ず下記のいずれかの方法で本体を接続してください。
●本製品付属のACアダプタを接続
●USBケーブルでパソコンと接続（パソコンの電源がON）

注意
一部のパソコンでは、USBポートからiPodの充電に十分な電源が供給されないなどの理由で、iPod付属のiPod DockコネクタケーブルでiPodと接続しても、iPodの充電が行えない場合があります。充電が行えない場合は、付属のACアダプタを接続してください。

iPodに音楽を転送する

Dockコネクタの無いiPodは音楽転送機能を使用できません。

本製品のUSBコネクタを使用して、パソコンからiPodに音楽を転送することができます。
音楽の転送を行う場合は、市販のUSBケーブルでパソコンと本体を接続してください。また、パソコンに下記のソフトウェアがインストールされているか確認してください。インストールされていない場合は、iPodのスタートアップガイドに従って、ソフトウェアをインストールしてください。
●iPodのソフトウェア
●iTunes

必要なUSBケーブル
USBケーブル
（mini B⇔ Type A ）

パソコンとの接続
本製品背面のDockコネクタポートに、USBケーブルを接続します。

音楽の転送手順
USBケーブルでパソコンと本体を接続して、iPodを本体に接続するとiTunesが自動的に起動し、iPodとiTunesを同期します。

注意
音楽の転送手順の詳細や設定については、iPodのスタートアップガイドまたは「iTunes」のマニュアルを参照してください。